

第6学年 国語科学習指導案

1組 計30人(男子14人, 女子16人)

指導者 中 村 悦 子

1 単 元 筆者の考えを受け止め、自分の考えを伝えよう

(教材「平和のとりでを築く」「自分の考えを発信しよう」光村6年下)

2 単元について

(1) 単元の価値

本学級の子どもたちは、第5学年で「伝え方を選んでニュースを発信しよう」で、目的をもって文章を読みながら要旨をとらえたり、記事を書いたりしてきた。第6学年では、「みんなで生きる町」で、自分の考えを広げ、深めるために必要な資料を選び、まとめる学習を行ってきた。また、「ちいちゃんのかげおくり」、「一つの花」などから平和について考えたり、「生き物はつながりの中に」や「森へ」などで生命尊重について考える学習もしてきている。

そこで、本単元では、これまで学習してきたことのまとめとして内容的に社会性のある事柄について学習し、事象と筆者の意見や主張したいこととの関係を押さえて教材文を読んで自分の考えをまとめたり、自分の考えを明確にするために必要な情報を選択して表現方法を工夫しながら分かりやすく伝えたりすることをねらいとしている。

本教材は、「平和のとりでを築く」と「自分の考えを発信しよう」という二つの教材から構成されている。子どもたちは、これまで家庭や地域で様々な経験をしたり、ニュースなどを通して世界情勢にも目を向けたりするようになってきている。この期に、「平和」についての筆者の考えを読み取り、関連する資料を集め、「自分たちの未来」に対する考えをもち、発信することは、これからの社会を生きる子どもたちにとって意義のある学習である。

子どもたちは、「平和のとりでを築く」という教材文を読み、筆者の訴えたいことについて読み取り、よりよい未来について調べたり、友達と話し合ったりすることで、自分の考えをもつことができる。また、情報を取捨選択し、表現方法を工夫しながら自分の考えを伝えることで、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の学習を総合的に進めることができる。さらに、自分の考えや課題について友達と情報交換したり、疑問点を話し合ったりすることで、友達と学び合う楽しさを感じ、自分の考えをよりよい考えへ高めることができる。そして、これらのことは、小学校の国語の学習のまとめとして、自分の力で教材に取り組み、今まで学習してきた方法を生かして楽しみながら課題を解決しようとする学習へとつながることになる。

(2) 単元目標

【◎は単元の重点目標】

- | | |
|---|-------------------|
| ○ 自分たちのよりよい未来について関心をもち、自分の考えについて主体的に調べ、分かりやすく伝えようとする。 | 【国語への関心・意欲・態度】 |
| ○ 自分の考えを分かりやすく話したり、相手の意図を考えながら聞いたりして、自分の立場をはっきりさせて話し合うことができる。 | 【話す・聞く能力】 |
| ◎ 自分の考えを明確にするために、必要な情報を選んだり整理したりして、全体の組立てを考えて書くことができる。 | 【書く能力】 |
| ◎ 事象と筆者の意見や訴えたいことを読み取り、自分の考えをまとめることができる。 | |
| ○ 自分の考えを広めたり、深めたりするために必要な資料を読むことができる。 | 【読む能力】 |
| ○ 文中の語句や漢字の意味を理解し、書いたり話したりするときに適切に使うことができる。 | 【言語についての知識・理解・技能】 |

(3) 子どもの実態

ア 本単元・本教材に関する実態(調査人数26人 ()は人数 H17.9)

① 「平和」をテーマにした本を読んだことがありますか。

- | | | | |
|----------|-------------------|-----------|---------------|
| ・ある (24) | …ちいちゃんのかげおくり (14) | 一つの花 (3) | スターウォーズ (2) |
| | ヒロシマ (2) | 火垂るの墓 (1) | 題名は思い出せない (2) |
| ・ない (2) | | | |

本学級の子どもたちは、平和や命に関する作品について学習し、主題を読み取る経験をしてきている。その感想は、「怖い」、「悲しい」という表面的な

② 本を読んで心に残っていることはどんなことですか。 ・こわい (10) ・悲しい (8) ・感動した (3) ・二度と起きてほしくない (2) ・戦争の時の生活が分かった (1) ・一日一日を一生懸命生きてすごい (1) ・戦争は何も残らない (1)	見方であり、主人公の心に共感して、 思いを想像したり、自分のこととして 考えたりする子どもは少ない (①, ②)。
③ 「原爆ドーム」について知っていることはありますか。 ・知っている (17) … 広島原爆の落とされた建物 (7) 世界遺産 (4) 広島にある、名前だけ知っている (6) ・知らない (9)	原爆についての知識は、広島や長崎 に原爆が落とされ、多くの人が亡くな ったことは多くの子どもが知っている。 しかし、原爆ドームについては、聞いた ことがあるがよく知らないという子 どもが多いということが分かる (③)。
④ これから自分が生きていく社会で不安に思っていることがありますか。(複数回答) ・戦争 (14) ・テロ (8) ・少年犯罪、事件など (3) ・あまり考えたことがない、分からない (4) ・その他各1 (差別、税金、科学の進歩、自然保護、環境破壊、動物への虐待)	今、自分が生きている社会は平和で 楽しいけれど、自分がこれから生きる 社会については、戦争やテロの恐怖、 少年犯罪などの事件の多発、環境問題、 自然保護などが心配と答えていること
⑤ 説明的文章を読むことは好きですか。 ・好き (4) …新しいことを知ることができる ・あまり好きではない (22) …読むのが面倒くさい (10) 難しい言葉や文が多い (9) 物語の方が面白い (3)	

から、新聞やテレビから様々なニュースに目を向けていることも分かる。反面、あまり考えたことがないという子どももいる (④)。

説明的文章の学習については、新しいことが分かって面白いと答えた子どもはわずかで、多くは、文章を読むことが面倒くさい、要旨をまとめることが難しいと感じている子どもが多い (⑤)。これらのことから、課題設定の過程において効果的な資料を提示し、自分の考えをしっかりとつとめることができるようにする。

イ 「学び合い」の実態

本学級の子どもたちは、これまでの学習の中で、グループでの話し合いや学級集団での意見交換などで多様な考えを聞いたり、根拠をはっきりさせて自分の考えを発表したりしてきている。その際、自分の考えと友達の考えを比較して、自分の考えに生かすよさを理解してきている。しかし、自分の考えに自信がもてなかったり、友達に頼ってしまい進んで発言することができなかつたりする子どもも多い。また、人の考えを認めたり、よさを自分に生かしたりすることが素直にできないこの期の子どもたち特有の姿も見られるため、友達とのかかわり方を振り返り、学び合いを行うことで自分の考えが深まることを実感できるように互いの考えを尊重する学級集団をつくっていく必要がある。

3 指導に当たって

本単元の指導に当たっては、以下のような点に重点をおいて指導していきたい。

(1) 評価方法及び評価に基づく指導について

- ・ 子どもの発言や自分の主張を伝える表現のよさなどを具体的に称賛し、学級全体に広げるようにする。
- ・ 評価補助簿に子どもの学習状況を記録し、授業づくりに生かす。
- ・ 自己評価・相互評価の学習活動を活用する。

(2) 個に応じた指導について

- ・ 筆者の主張を適切にまとめることができない子どもには、事象と筆者の感想、意見を押さえながら文章構成をつかむことができるように学習状況に応じたワークシートを準備する。
- ・ 自分が伝えたい課題をうまく選ぶことができない子どもには、友達の計画を参考にしたり、みんなから出た課題例をまとめた資料を示したりする。

(3) 高めたい「学び方」について

- ・ 教材文の文章構成や表現上どのような工夫をしているかを読み取ることで、平和について自分の考えを伝える際に生かすことができるようにする。
- ・ 自分の考えを明確にして分かりやすく伝えるために、様々な資料を収集し、それを選択して整理することができるようにする。

(4) 「よりよい学び合い」の場について

- ・ 「よりよい未来」とはどのようなことかウェビングゲームを行い、自分の伝えたいことを書き出し、自分の主張したいことは何かを明確にできるようにする。
- ・ 読み取った筆者の主張について根拠を明確にして発表し合うことで、自分と友達の読みの違いや共通点に気付き、それをノートに整理することで、自分の考えを見直したり、深めたりすることができるようにする。
- ・ 学習を振り返る場において、集団の中で自分のかかわり方について自己評価、相互評価活動を行うことで、「学び合い」のよさや自分の成長を自覚する場を設定できるようにする。

3 指導計画 (全14時間)

●は、本単元における主な「学び合い」とそのねらい

過程	時間	主な学習活動	教師の指導	評価項目や評価方法
つか か ま ひ 深 め る 味 高 め る ま 広 げ め る	1	1 これからの社会への希望について話し合う。 2 学習課題をつかみ、学習計画を立てる。 「よりよい未来」についてみんなで話し合おう。	○ 事前に学習内容を知らせ、戦争や平和などに関する新聞を読んだり、ニュース番組を視聴したりすることで、「よりよい未来」について考えることができるようにする。 ○ 説明文の読み、情報収集、自分の考えを発信するという学習の見通しをもつことで、課題意識が継続できるようにする。	・ 社会の出来事に関心をもち、進んで発表しているか。(発表、観察) ・ 教材の単元構成を理解し、学習の見通しをもてたか。(発表、観察)
	6 (本時6/6)	3 「平和のとりでを築く」を読み、筆者の伝えたいことを考える。 ○ 全文を読み、内容の概略をつかむ。 ○ 意味段落ごとに文章構成をつかむ。 ○ 筆者の伝えたいことをまとめる。	○ 「平和のとりでを築く」という題名や写真などを基に疑問や感想について話し合うことで、読みの課題を明確にすることができるようにする。 ○ 年代、指示語、つなぎ言葉などを手がかりにして意味段落を考えることができるようにワークシートを工夫する。 ● 筆者の考えは何か読み取って、その考えの根拠を明確にして伝えることで、自分と友達の読みの違いや共通点に気付くことができるようにする。 ● 自分と友達の読みの違いをノートに整理することで、自分の考えを見直したり、深めたりすることができるようにする。	・ 事象と筆者の考えを押さえながら、文章構成をつかんでいるか。(発表、ワークシート) ・ 筆者の考えに対して自分なりの考えをもとうとしているか。(発表、観察) ・ 根拠を明確にして自分の考えを述べているか。(発表) ・ 友達の考えを聞きながらノートにメモし、考えを整理しているか。(ノート)
	6	4 筆者の伝えたいことに対して、自分なりの考えをまとめる。(本時)	● 筆者の考えについて、これまでの経験や社会科の学習などを基に平和についての自分なりの考えをまとめ、話し合うことで、自分の感じ方や考え方を明確にすることができるようにする。	・ 自分の伝えたいことを見付けているか。(発表) ・ 効果的な資料を集めているか。(観察)
	6	5 「よりよい未来」について自分の考えを発信する準備をする。 ○ 計画を立てる。(内、外、手、足、顔、心) ○ 必要な材料を集める。 ○ 中間報告会を開いて、構成・材料について改善を図る。 ○ 自分の考えを整理し、発表原稿を書く。 ○ 発表の練習をする。	○ 「平和」に関してもっと知りたくなったことや感じたことを出し合うことで、問題意識をもつことができるようにする。 ● 原稿をペアやグループで読み合うことで、テーマや相手意識、目的意識が計画から外れていないか確認することができるようにする。 ● 課題が似ている者同士でグループを作り報告会をすることで、情報交換をしたり、疑問を出し合ったりして発表内容をよりよいものにできるように推敲する。	・ 集めた材料を取捨選択して、自分の考えが分かるように組立てを考えているか。(ワークシート、観察)
	1	6 発表会を開く。	● 友達の発表を聞くときの視点を明確にすることで、具体的な感想や意見が交流できるようにする。	・ 自分の読みを振り返り、友達の読みを取り入れようとしているか。(発表・作品・評価カード)

5 本 時 (7/14)

平和について、筆者の主張を基に自分の考えをまとめ、話し合うことができる。
 教師の言葉かけ
 ● は、本時における主な「学び合い」とそのねらい

◆ 重点評価項目を受けての指導

重点評価項目

題分)	主な学習活動と予想される子どもの反応	教師の指導
1 つ	1 前時までの学習を想起する。 「平和のとりにてを築く」を読んだ筆者の考えをまとめましたね。	○ 音読したり、読み取ったことを見たりしながら、これまでの学習を想起することで、筆者の主張を基に自分の考えをまとめ、意欲をもつことができるようにする。
2 か	2 学習課題を確認する。 筆者の主張を基に自分の考えを出し合い、平和について考えよう。	○ 学習の進め方を確認することで、学習に見通しをもって取り組むことができるようにする。
3 (5) む	3 学習の進め方について確認する。 自分の読みを振り返り、考えたことをグループで話し合おう。それから、みんなについて考えよう。	● 視点として「これまで読んで読んだ本や戦争」、「平和に関するニュースなどを基に」などを示すことで、根拠を明らかにして自分の考えをまとめ、グループで発表し合うこと。また、自分の意見を参考に、自分の考えを修正したり、付け加えたりして読みを深めることができるようにする。
4 深	4 筆者の主張を基に、自分の考えをまとめ。 これまでの読みを確かめながら、自分の考えをまとめよう。自分の考えの根拠がよく分かるようにまとめよう。	◆ 筆者の考えを基に自分の考えをまとめ、平和について話し合えることができたか。(ノート、発表表、読むこと) → 自分なりの考えを具体的に取上げて称賛すること。他の子どもたちにそのよさを広げることができているようにする。また、平和に対する課題に気付くことができるようにする。
5 め	5 自分の考えを基にグループで話し合う。 友達の考えと自分の考えを比べながら聞きましよう。参考にすることはメモをしよう。	◆ 自分なりの考えをまとめ、うまく伝えることができるようにする。 → 考えのよさを具体的に取上げて称賛すること。他の子どもたちにそのよさを広げることができているようにする。また、平和に対する課題に気付くことができるようにする。
6 (20) る	6 平和について話し合う。 わたしたちは、心の中に平和のとりにてを築くことができるだろうか。	◆ 自分なりの考えをまとめ、うまく伝えることができるようにする。 → 考えのよさを具体的に取上げて称賛すること。他の子どもたちにそのよさを広げることができているようにする。また、平和に対する課題に気付くことができるようにする。
味高	7 本時の学習を振り返り、学習のまとめをする。 今日で学習が完了した。戦争や平和についてみんなで考えてみた。いろいろな疑問も出てきた。次の時間は、よりよい未来にするための計画を立てよう。	● グループでの話し合いで深まった考えを生かして、更に多様な考えを出し合うこと。自分の感じ方・考え方を示すことができるようにする。 → 自己評価では、学び合いのよさを実感できるように友達とのかわり方を振り返ることができるようになる。 → 互いの考えを認め合う雰囲気や学級全体に広げることができるようになる。 → 次時の学習について知らせ、意欲を高めることができるようにする。